



The St. Regis Bali Resort

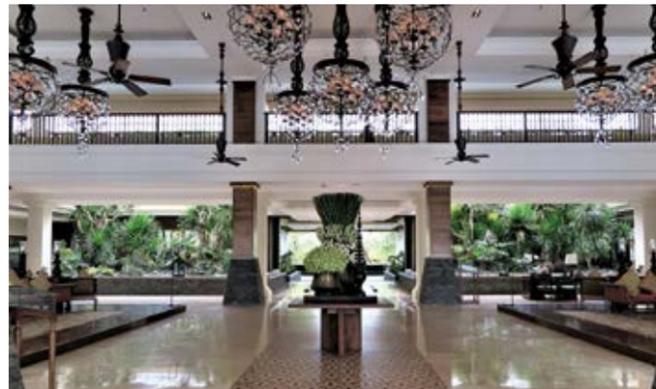
どこからでも美しいオーシャンビューを望めるセンレジス バリ リゾート。ここから見渡す手付かずの砂浜は、バリ島・ヌサドゥア随一の美しさと称えられている。1904年にニューヨークで誕生した名門セントレジス ホテルがアジアのリゾート第1号として、最初にオープンさせたのが「The St. Regis Bali Resort」である



インドネシア語で「白い木」という意味のレストラン「Kayuputi」。その名の通り白木を基調としたインテリアで、バリの最高級食材を使ったパンアジア料理が堪能できる。ワヤン・クリ (Wayang Kulit) という人形を用いた伝統的な影絵芝居に使われる「操り人形」などの民芸品をアクセントにしている



「The St. Regis Bali」の銘板が誇らしげに掲げられたセンレジス バリ リゾートのメインゲート



バリの薫風が吹き抜けるエレガントなエントランスホール



本格的なバリ料理レストラン「Dulang」。メニューは極上のバリ料理から影響を受けたもので、「王の皿」を意味するデュランというお皿に盛り付けられる



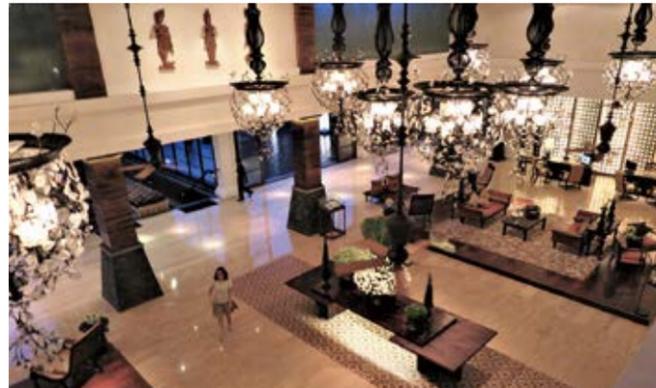
「King Cole Bar」はニューヨークのセントレジスの伝統を受け継ぎ、毎晩、クラシックジャズのライブ演奏が楽しめる



筆者 小原 康裕
 国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。
 1974年 Munich Re 入社。
 2001年投資顧問会社原健設立、
 代表取締役 CEO。
 JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント
 協会専務理事。
 SKAL International Tokyo、
 Professionnels du Tourisme 会員。
 JARC、日本宿泊施設関連連合会
 アドバイザリーボードメンバー。

www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
 www.hoteronline.com
 https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16



メザニンから俯瞰したシャンデリアに灯が灯る夕刻のエントランスホール

The St. Regis Bali Resort

どこからでも美しいオーシャンビューを望めるセンレジス バリ リゾート。ここから見渡す手付かずの砂浜は、バリ島・ヌサドゥア随一の美しさと称えられている。1904年にニューヨークで誕生した名門セントレジス ホテルがアジアのリゾート第1号として、最初にオープンさせたのが「The St. Regis Bali Resort」である。ヌサドゥアのオーシャンフロントに直結した唯一のプライベートヴィラを備えており、高級な中にそこはかたないエレガンスが漂う贅沢な5つ星ホテルと言える。

バリ島・ヌサドゥア地区はメキシコ・カンクンに似た風光明媚な海岸がどこまでも続いている。バリ国際空港から程近く利便性が高いため多くのインターナショナルブランドのホテルが立ち並ぶ。とくにヌサドゥア南部地区は高級ホテルが進出しており、アマンリゾートの「Amanusa」、女神像が並ぶ姿で話題になった「The Mulia Resort」、さらに「The Ritz-Carlton, Bali」とブランニューのケンピンスキー「The Apurva Kempinski Bali」の2軒が隣接して建つなど注目のホテルが目が離せない。

セントレジス バリは全てスイートタイプ以上の部屋で構成され、41のヴィラタイプとメイン棟のスイートを併せ全123室を



センレジス バリ リゾートはヌサドゥアのオーシャンフロントに直結した唯一のプライベートヴィラを備えた贅沢な5つ星ホテルだ



ホテルのフォトジェニックポイントの「花の大階段」。夕刻、大階段下のテラスで本場のファイアーダンス「Balinese Fire Dance Ritual」が行なわれる



ホテル敷地内にある3,700㎡という海水を利用した広大なラグーンプール



ヤシの木など豊富な緑に囲まれた空間は、バリの自然の中で泳いでいるような感覚になる



スパ施設「Iridum Spa」のエキゾチックなエントランス。サロン1室とスパスイート2室を含むトリートメントルーム12室を備えている



トリートメントルームは照明のマジックで蝶がやさしく羽ばたいているかのようなイメージを創出し、安らぎとくつろぎの雰囲気醸し出している

擁し、2008年にオープンした。今回はアッパークラスのヴィラ「The Strand Villa 1 King Bedroom Villa」をご紹介したい。604㎡の広大な面積を誇るヴィラで、プライベートプールと専用カバナが付帯する。特筆すべきはまさにオーシャンフロントの立地で、ガーデンの門扉を開くと目の前にインド洋が広がり、さらに専用のデッキチェアが砂浜に用意されている。レストランは充実しており、インドネシア語で「白い木」という意味の「Kayuputi」はその名の通り白木を基調とし、インドネシアならではの工芸品をアクセントにしたインテリアだ。「王の皿」を意味する「Dulang」は極上のバリ料理から影響を受けた格調高いダイニング。「King

Cole Bar」はN.Y.のセントレジスの伝統を受け継ぎ、毎晩、クラシックジャズのライブ演奏が楽しめる。スパ施設「Iridum Spa」は照明のマジックで蝶がやさしく羽ばたいているかのようなイメージを創出し、安らぎとくつろぎの雰囲気醸し出している。ホテル敷地内の3,700㎡という広大なプールは、海水を利用したラグーンプールで、ヤシの木など豊富な緑に囲まれた空間は、バリの自然の中で泳いでいるような感覚になる。夕刻、花の大階段下のテラスで本場のファイアーダンス「Balinese Fire Dance Ritual」が行われ、一日のフィナーレを締めくくる。セントレジスバリは都会の喧騒から離れた大人のリゾートと言えよう。

The St. Regis Bali Resort



「The Strand Villa 1 King Bedroom Villa」のゴージャスなベッドルーム。セントレジスバリは全てスイートタイプ以上の部屋で構成され、41のヴィラタイプとメイン棟のスイートを併せ全123室を擁し、2008年にオープンした



「The Strand Villa 1 King Bedroom Villa」のリビングルーム。オーシャンフロントのヴィラは604㎡の広大な面積を誇る



広い面積を確保したスタイリッシュなバスルーム。独立したバスタブ、使いやすいツインシンクなど秀逸だ



このヴィラタイプは壮麗なプライベート庭園、大きな専用プール、伝統的なリラクゼーションガゼボを完備している



ガーデンの門扉を開くと目の前にインド洋が広がり、さらに専用のデッキチェアが砂浜に用意されている